

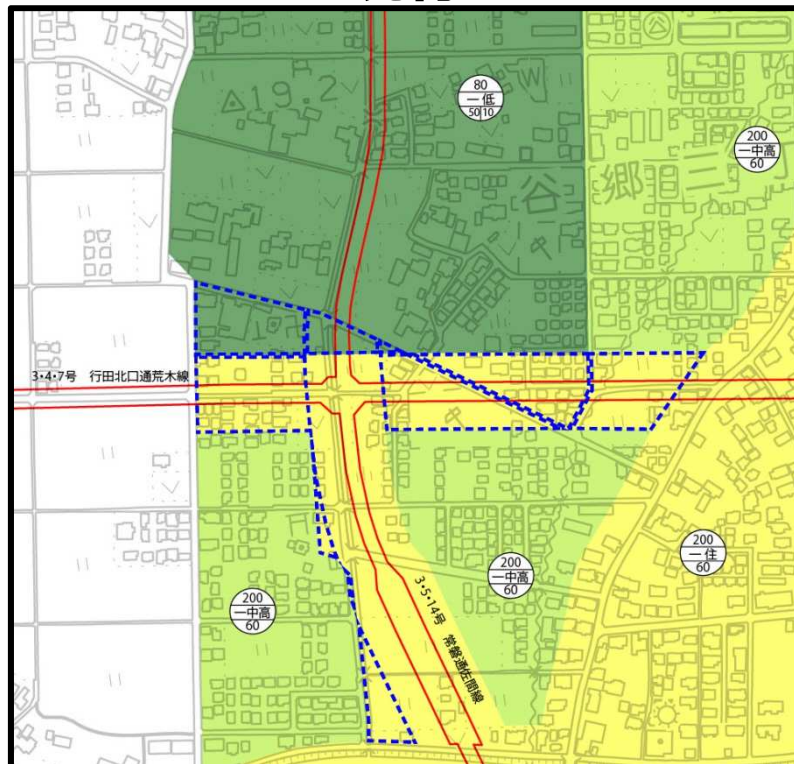
# 用途地域の変更（谷郷地区）

## 3・4・7号 行田北口通荒木線が廃止されると、一部用途地域が変わります

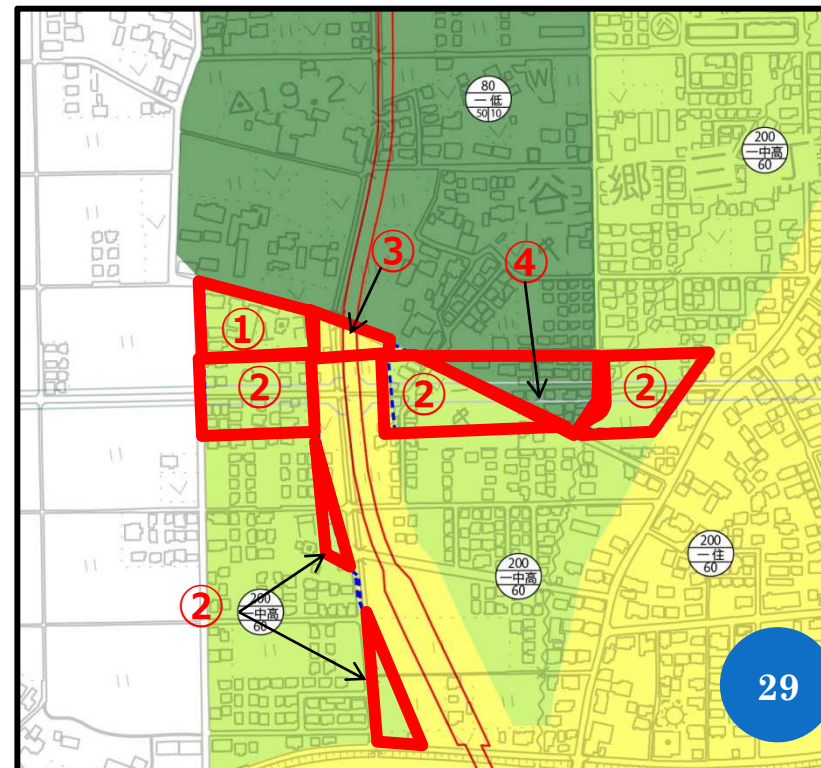
都市計画法では、都市を住宅地、商業地、工業地などいくつかの種類に区分するため、「用途地域」を定めています。用途地域ごとに建築できる建物の用途の制限や建て方のルールが異なります。

用途地域の境界は、道路等の地形地物で定めることから、都市計画道路3・4・7号行田北口通荒木線の一部を廃止すると、用途境界として定めていた基準線が消滅してしまうことから、現在ある市道第5.3-242号線を新たな用途境界の基準線に変更します（赤線の地区）。

### 《《現行》》



### 《《変更後》》※参考資料2-1 参照



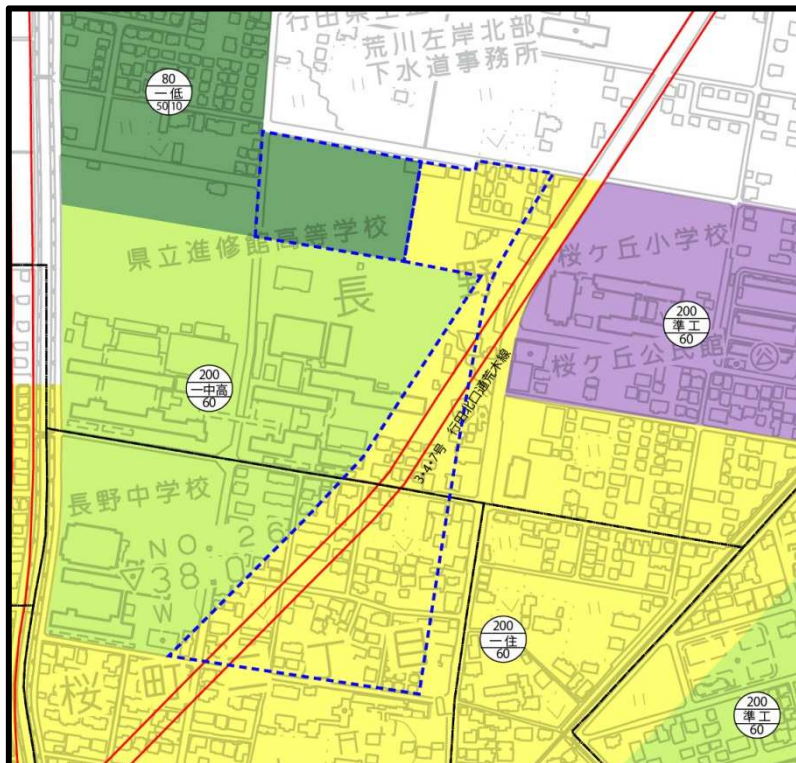


# 用途地域の変更（長野地区）

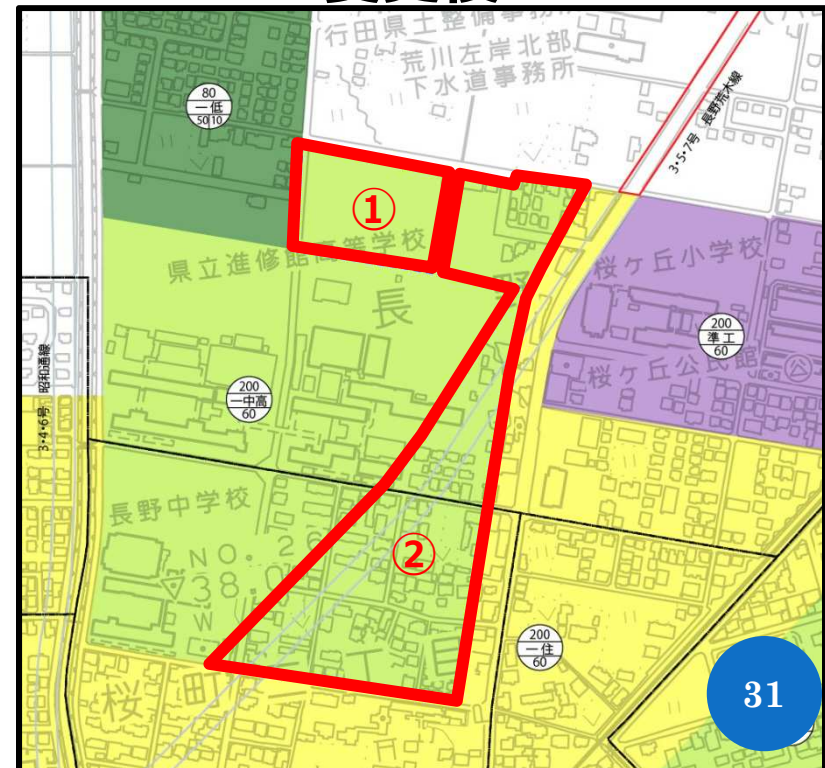
## 行田北口通荒木線が廃止されると、一部用途地域が変わります

行田北口通荒木線の一部を廃止すると、用途境界として定めていた基準線が消滅してしまうことから、現在ある主要地方道佐野行田線を新たな用途境界の基準線に変更します（赤線の地区）。

《《現行》》



《《変更後》》※参考資料2-2参照

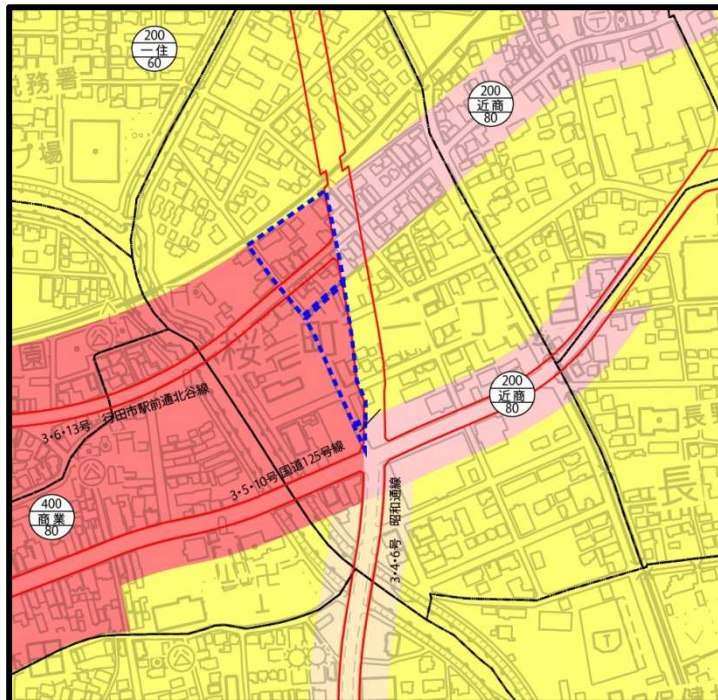


# 用途地域の変更（桜町地区）

## 3・4・6号 昭和通線が廃止されると、一部用途地域が変わります

都市計画道路3・4・6号昭和通線の一部を廃止すると、用途境界として定めていた基準線が消滅してしまうことから、現在ある市道第5.3-417号線を新たな用途境界の基準線に変更します（赤線の地区）。

《《現行》》



《《変更後》》 ※参考資料2-3参照

